

なるほどのう



学校教育担当  
キャラクター  
甲斐善之助

# 西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

9月号



全国学力・学習状況調査結果から考える  
「知識・技能」に関する指導改善のポイント！

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」  
一人ひとりを大切にするために

「人権尊重の社会づくりの担い手」となる児童生徒の育成に向けて  
人権学習の授業づくりについて



今年度の全国学力・学習状況調査の結果において課題が見られた中学校数学「知識・技能」の問題に関する指導改善のポイントについて御紹介します。今後の指導の参考にしてください。

## 令和8年度全国学力・学習状況調査問題

2 下の式で、 $7x$ の同類項をすべて書きなさい。

$$7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$$

正答

$-5x$ と $2x$ 又は $7x$ と $-5x$ と $2x$   
と解答しているもの。

誤答例

$5x$ と $2x$ 又は $7x$ と $5x$ と $2x$ と  
解答しているもの。

正答率

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 全国  | 70.5%           |
| 鳥取県 | 62.4%<br>(-8.1) |

全国学力・学習状況調査の解答類型を参考に、生徒がどこでつまづいたのかを検証し、授業でどのような学習活動や手立てが必要かを考えていくことが重要です。

### 解答類型の結果より…

- ◆文字の部分が同じ項を同類項ということは理解できているが、全ての項の符号が正であると捉え、多項式 $7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$ の項を「 $7x$ 、 $9$ 、 $5x$ 、 $7x^2$ 、 $2x$ 」とし、「 $5x$ と $2x$ 」または「 $7x$ と $5x$ と $2x$ 」と解答している。
- ◆その他の解答の中には、「 $7x^2 + 4x + 9$ 」という解答があり、この解答をした生徒は、 $7x$ の同類項を示さず、同類項をまとめて式を簡単にしたと考えられる。



### 【授業改善のポイントと活動例】

#### 同類項の意味を理解する。



この問題の $7x$ の同類項を見つけてみよう。

問題  $7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$   
 $= 7x + 9 + (-5x) + 7x^2 + 2x$

項  $7x$ 、 $9$ 、 $-5x$ 、 $7x^2$ 、 $2x$

文字を含む項  $7x$ 、 $-5x$ 、 $7x^2$ 、 $2x$

数の項  $9$

文字の部分が $x$ の項  $7x$ 、 $-5x$ 、 $2x$

文字の部分が $x^2$ の項  $7x^2$

数の項  $9$

※多項式について考察する場面において、同類項の意味を理解できるように指導しましょう。

式を足し算の形で書いたときの、1つ1つの単項式を項と言ったよね。符号のマイナスも含めて項だから、 $5x$ ではなく、 $-5x$ と考えるよ。同類項の条件である、文字の種類が同じかを確認すれば、 $7x$ の同類項は $-5x$ と $2x$ ということがわかるね。



なるほど。でも、 $7x^2$ も $7x$ と同じ $x$ を使っているから、 $7x^2$ も同類項じゃないのかな。

$7x^2$ は確かに文字は $x$ で同じだけど、かけ算にして考えると、 $7 \times x \times x$ になり、 $7 \times x$ とは、かけられている文字の個数(次数)が異なるので同類項ではないよ。同類項を考えるときは、文字の種類だけでなく、次数も同じ項を考えないといけないよね。



令和8年度全国学力・学習状況調査の報告書には、児童生徒一人ひとりの学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて調査の結果とともに、生徒がどこでつまづいているかを検証した結果や、指導のポイントが掲載されています。また、学習指導に当たって授業の具体がアイデア例に示されています。授業づくりの際の参考に御活用ください。





## 一人ひとりを大切にするために

学級経営のエキスパート教員である山田教諭に、日々の実践の中で大切にしていることについてお聞きしました。その一部を御紹介します。



## 心をフラット（穏やか）にすること

子どもたちの心の穏やかさをどう保ち、どう切り替えられるのかという視点を大切にしています。

心が穏やかでないと、相手の言うことを聞こう、がんばろうという気持ちになりにくいものです。逸脱した行動をとっている場合は、その子が『**穏やかに自分で戻るにはどうしたらよいのか**』を考え、その状況をいかにつくるのかを考えます。注意して何かさせようとしているときは、先生も子どもも、お互いに無理をしている状況ではないでしょうか。うまくいかない時には、次はこの作戦でやってみよう、**自分（先生側）のやり方を変えてみます**。相手を変えようとするのではなく、自分のやり方を変えることで、逸脱した行動から戻る道づくりをします。

他のクラスがきちんとしているのに、どうして自分のクラスは・・・と焦ることもあるかもしれません。そんな時の焦りは、感情的な言葉になりがちです。「きちんとやらせよう」から「**心が整ったら自分からやるんじゃないか**」と発想を転換し、子どもの心が整った状態「**学びのベストコンディション**」を作り出す声のかけ方や学習のしかけを工夫するようにしています。

「誘う」

～しません（否定）、～してください（お願い）



～してみましょう（誘い、働きかけ）

## 行事のときには・・・

子どもたちの中には、行事が苦手な子やしんどさを感じながらも言い出せない子もいます。

例えば、体育祭のような順位や結果が出る行事の場合、**勝ち負けではないところに楽しさを見出せるような声かけ**を心がけます。行事後のクラスの姿として、「助け合う」「支え合う」「がんばりをたたえ合い、認め合う」などを、**取り組みのスタート時点で伝えたり、可視化したりする**ようにします。勝っても負けても、得るものはあるはずですが、視野が狭くなってしまう子は、勝ちにこだわるとだんだんと苦しくなってくることもあります。

子どもたちで作戦を立てるような場面では、運動が得意な子たち中心で話が進んでいくような様子も見られるかもしれません。そんなときは、**苦手な子に先生はどう声をかけるのか。一人ひとりの子どもに対してその子の何が苦手かを分かった上で先生がプランをもって指導にあたるように心がけます。**



## はなれていても、がんばっているよ

教育課程上同じ学習内容をしている場合は、本人の了解を得た上で、**支援学級での学びの様子を交流学級で紹介**することもあります。

例えば、支援学級の方で先行して授業を進めている場合、レポートを「こんな感じで作ってみよう」と交流学級で**例として紹介**したり、提出箱に提出したレポートを単元末のまとめの前**にお互いに見ることができるよう**にしたりします。振り返りにお互いのことを書く子どももいて、それがきっかけで給食時間に話をする姿も見られました。授業の中で、**離れていてもがんばっていると感じることが**できます。

教室に入らず、別室で学習している子がいて、リモートで授業に参加している場合、あえてライブ感を大切に、「ちょっとプリントを渡しに行ってくるね」と届ける姿を子どもたちに見せることもあります。**先生がどんな姿を子どもたちに見せているのか、子どもたちは先生の姿を見ています。**

子どもたちが自然と「**つながっている**」ということが感じられるようでありたいと思います。



## 子どもの姿をどう捉えるか

子どもたちは、先生の姿をよく見ています。そして、知らず知らずのうちに真似ていきます。

例えば、先生がある子をしかってばかりいれば、周りの子どもたちもその子を「また〇〇している」「しかられている」「いけないことばかりしている」となっていくます。**先生はその子の何を見ているのか、声のかけ方で変わってきます**。イライラして廊下にいるのなら「今、葛藤しているんだね」、教室に戻ってきたときに「自分でクールダウンして戻れたね」「前より時間が短くなったね」など、良い面をさりげなくつぶやくようにしています。

大人として、**子どもが表出する言葉だけに過剰反応せず、支援の目線で子どもを見て関わること。その子の不安をどうやって先生が取り除いていくのか、**周りの子は見ています。そして、見ている子の中から、関わり方を工夫してくれる子も出てきます。

## 支援の目線

(例)「だるい」等と言って学習に取り組みにくい子  
困っているが、それをうまく表現できずに自己防衛的に言っているのかもしれない



不安を取り除く 見通しがもてるようにする 等



# 人権学習の授業づくりについて

人権学習の授業づくりにおいても、児童生徒に何を考えさせたいのか、育てたい資質・能力は何かを意識してみましょう。

## 人権教育を通して育てたい資質・能力を明確にしましょう

P.5

人権教育は、人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤として、意識、態度、実践的な行動力等の様々な資質・能力を育成し、発展させることをめざす総合的な教育です。人権教育を通して育てたい資質・能力については、次の3つの側面(知識、技能、態度)から捉えることができます。

【人権教育を通して育てたい資質・能力(例)】(一部省略)

| 知 識                                                                                                                         | 技 能                                                                                                                           | 態 度                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務等の諸概念についての知識<br>②人権に関する国内法や条約等に関する知識<br>③人権発展の歴史や人権侵害の現状等についての知識<br>④自他の人権を擁護し、人権侵害を予防・解決するために必要な実践的知識 | ⑤適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能<br>⑥他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性<br>⑦人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見極める技能<br>⑧合理的・分析的に思考し、公平で均衡のとれた結論に到達す | ⑨人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度<br>⑩自己についての肯定的態度(自尊感情等)<br>⑪自他の違いを認め、尊重する意識、多様性に対する肯定的態度<br>⑫自己の周囲、具体的な場面において、人権侵害を受けている人を支援しようとする意欲・態度<br>⑬正義、自由、平等等の理念の実 |

人権教育を通して育てたい資質・能力を明確にすることで、人権教育でめざす姿に対して、どの教科等の、どの場面でどのようにアプローチするのか、具体的な方策が見えてきます。

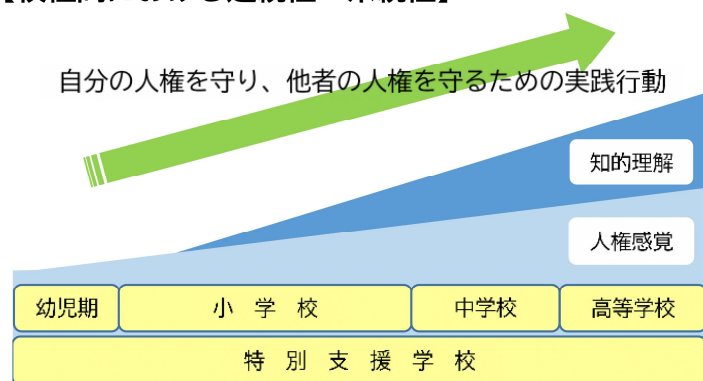


## 連続性・系統性を考慮した学習計画を作成しましょう

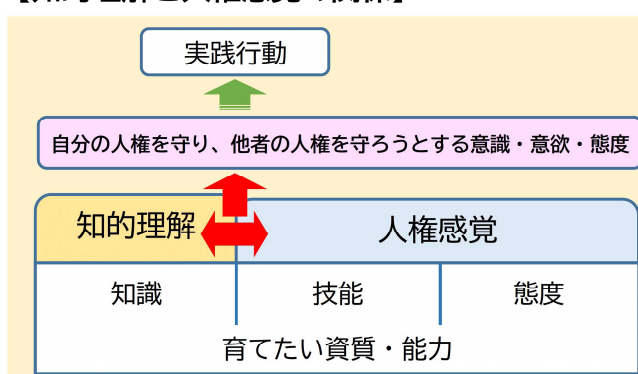
P.6

児童生徒の発達段階や学習状況により、人権教育を通して育てたい資質・能力を「知的理解(知識)」と「人権感覚(技能・態度)」の側面で整理し、各学校段階における指導内容の連続性・系統性はもちろんのこと、校種間のそれも考慮し、学習計画を作成しましょう。

### 【校種間における連続性・系統性】



### 【知的理解と人権感覚の関係】



人権に関する知的理解と、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるために必要な人権感覚をバランスよく身に付けることが大切です。知的理解と人権感覚の両方が身に付くことによって、自分や他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度が生まれ、自分や他者の人権を守るための実践行動につながります。



### 指導参考資料(教職員用)

「部落差別の解消をめざして～人権尊重の社会づくりの担い手となる児童生徒の育成～」



令和5年4月改訂

本資料は、同和問題学習の授業づくりだけでなく、同和問題についての理解や人権感覚の高揚を図るために学校が行う教職員研修や個人で行う自己研修にも活用できます。学習指導事例や用語解説も掲載されていますので、ぜひご活用ください。

